

■ 避難所入所時のコーディネート

- ・ 災害弱者が2階や3階に入居！はなぜ生まれたか
- ・ 震度5強の余震—避難経路図と避難者名簿がない？
- ・ 支援体制は150名超！でもバラバラな動きが

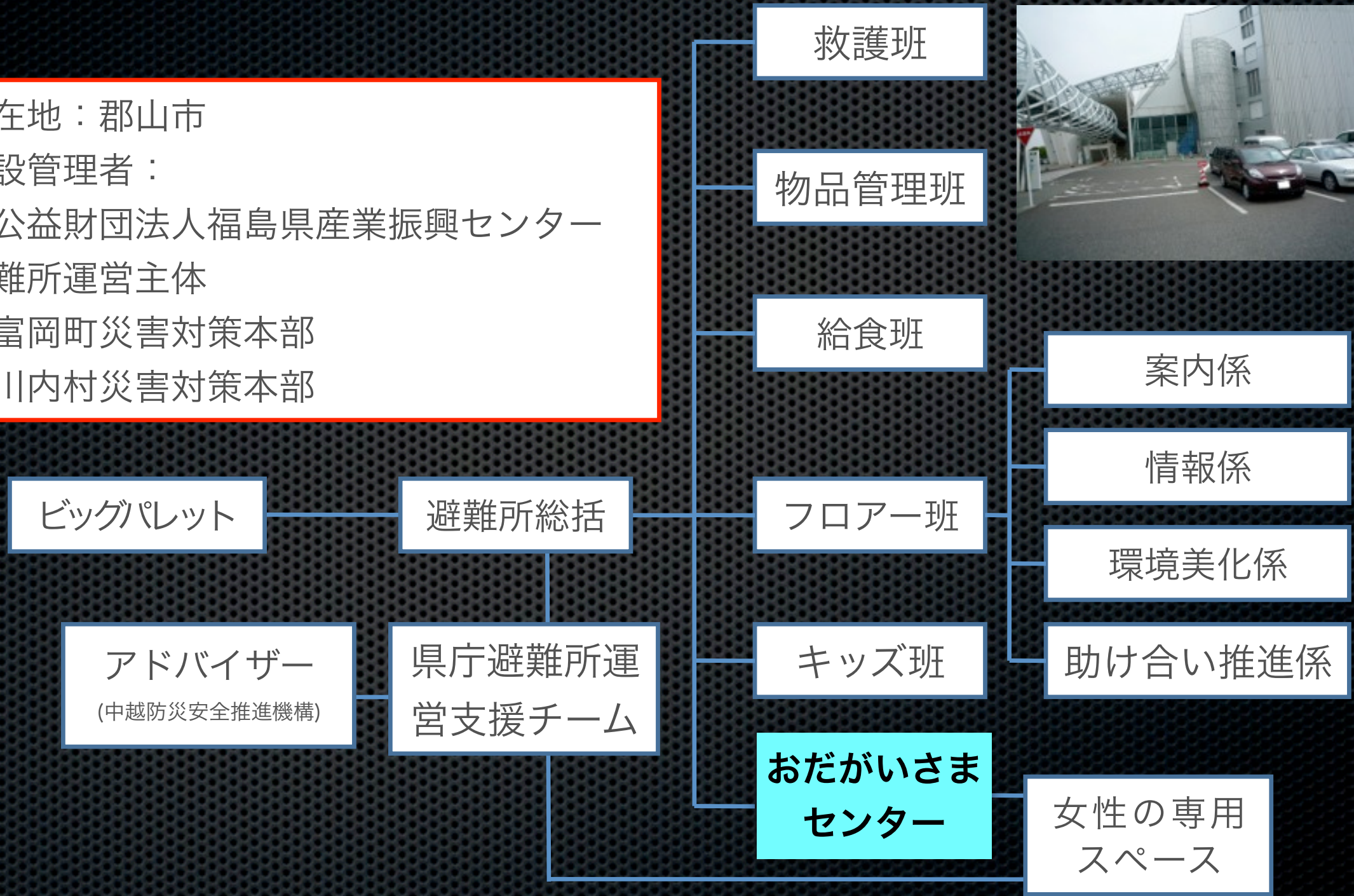


司令塔の不在

「交流」と「自治」に基づき、避難所からその後の生活を見通した青写真をつくる機能も

避難所の運営組織図

- ◆所在地：郡山市
- ◆施設管理者：
公益財団法人福島県産業振興センター
- ◆避難所運営主体
富岡町災害対策本部
川内村災害対策本部





女性の専用スペース

おだがいさまFM

Q: いつ使えますか?
A: 毎週月曜日

Q: 誰が使えるの?
A: 高齢者、障がい、高齢者など
●身体を動かしたい
●おしゃべりしたい
●お茶を飲みながら話したい
●おしゃべりしたい
●おしゃべりしたい
●おしゃべりしたい

Q: 子どもも入れますか?
A: 小学生以上

Q: 場所はどこにあるの?
A: 総合市民センター（2F）の裏手です。
案内図をご覧ください。

女性専用スペース
オープン
しました。

おだがいさまFM
ご活用ください。

★ 畑しごと隊出動しました

第4号でもお伝えした鈴木グリーンファーム・岩瀬農業高校で作付した野菜たち。夏の強い日差しを乗り越えて、沢山の実をつけ始めていました。これからもたくさんの実がなるように、畑しごと隊の皆さんが一生涯お世話をしています。

広い畑に一面の緑。暑いながらも心地よい時間を過ごせたのではないのでしょうか。

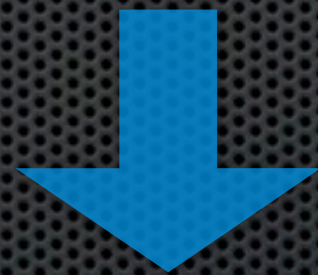
次の作付に向け、畑しごと隊のメンバーを募集する予定です!



畑しごと隊

■ 「災害要援護者」への具体的支援

- ・ 女性の専用スペース誕生・・・女性への支援
- ・ おだがいさまFM誕生・・・高齢者、視覚障害者
- ・ 畑隊の誕生・・・生活不活発病、生きがい対策



避難所と「専門機関」との協働

■ 生命を守るためには自治活動だ！

・ ・ ・ 阪神と中越から学ぶ

- ・ 阪神・淡路の震災時になぜ仮設住宅で多くの孤独死が生まれたか

※ **交流**の場の提供と**自治**活動の促進

- ・ そんなの効果あるの？ーサロン（喫茶スペース）と足湯の設置

■ 足湯の活動



足湯のつぶやきより・・・

聞きたい曲があるの。でも、リクエストできない。泣いちゃう。亡くなった息子がいて、その子が好きだったの。巨人の星のテーマ。その子の思い出も何もないの。写真も新品のスーツも。探そうにも二十キロ圏内だから、もう戻れない。

川内村から来たんだよ。富岡町の人たちは、一回川内村に避難してきて、自分が作った農作物とかをあげていたんだけど、そしたら川内村まで三十キロ圏になっちゃってね。

せっかく作った野菜が食べられないのが何とも切ないね。

戦争よりも放射能の方がひどい。全てを失った。菜っ葉も椎茸もダメになった。犬を自宅に置いてきたんだ。よく分かっている犬で、車の音で家族を見分け、角でちゃんと待っているんだ。帰るときも角で見送ってくれる。（私は）右膝が痛いんだけど、その右膝を舐めてくれるんだよね。

■ サロンの活動



■ おだがいさまセンターの取り組み



■ おだがいさまセンターの取り組み

- ・ おだがいさまセンターの活動に確信を持った日
- ・ 住民の願いをかたちに・・・夏祭りをなぜ開催したのか



花植え隊



夏祭り





■ おだがいさまセンターの取り組み

・今日はありがとうな

・ ・ ・ Bホールにできたはじめての自治会





富岡町生活復興支援おだがいさまセンター 組織図と事務分掌

